

第4回あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議の開催結果について

- 1 開催日時 令和5年8月8日（火）10時から
- 2 開催場所 阿倍野防災センター 3階防災研修室
- 3 会議出席者
 - (1) あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議メンバー（五十音順・敬称略）
池内、左川、城下、室崎
 - (2) 事務局（消防局）
予防課地域担当8名
 - (3) 指定管理者
一般財団法人大阪消防振興協会1名、㈱ジェイ・アクシス2名
- 4 議事懇談
 - (1) 昨年度実施事業について
 - (2) その他
- 5 要旨
 - (1) 配付資料に沿って事務局からの説明内容は次のとおり
 - ・夏休みのサマーイベントについて
 - ・タスカル専用アプリについて
 - ・タスカルリーフレットのデジタル化について
 - ・各メディアでの放送等の紹介について
 - (2) 各メンバーからの意見の集約内容は次のとおり
 - ・メディアでも取り上げられていましたが、影響はいかがですか
 - ・インスタグラムなどは確かに若者に対しては効果的ですが、高齢者に対してはどのように広報をお考えですか
 - ・屋外で被災したら、とか、机が無ければどうするのか、など、様々なシチュエーションに応じた考察をさせることも必要ではないでしょうか
 - ・20分の動画については長すぎるので、もう少し小分けにして、短い見やすい動画とすればなおよいと思う
 - ・ユーチューバーが自分のチャンネルで来館時の内容を公開していないのは、公開するメリットがないと感じているのでは。コラボするときには、双方にメリットがある内容を検討してもよいのではないかと
 - ・サイネージでの広報については、今は公共施設での放映が多いかと思いますが、民間のサイネージの活用はどのようにお考えですか
 - ・「こういう施設があるよ」という施設の存在に関するだけでなく、どんなことが体験できるのかと

いう、施設の内容についても効果的に広報していけたらいいと思う。

- インバウンドの方が無料の体験型施設として利用されている現状があるかと思いますが、それについてはいかがですか？
- AR アプリについては、アップデートされていないというのが利用者にとって一番引かかる部分とおもわれるので、更新ペースが重要と思われる。アプリを開発すると、そこが一番大変だと思う。
- 来館者については、日本語学校に広報すれば、そこで学ぶ方々は来館してくれるのではないかと思う。災害がほとんどない地域出身の方が日本で住み始めるような場合、とてもいい教育施設ではないかと思う。
- この施設では、体験時にガイドさんがついてくれると思うが、リーフレットを見る限りそうとわからない。リーフレットにガイドさんの写真を載せるなど、工夫してみてもどうか。
- 全国に防災学習施設は100 ぐらいあって、内容的に似通ってしまうのは仕方がないかとも思う。市としてどの部分を重点的に広報したいかが重要。
- 阿倍野にはハルカスもあるので、阿倍野にきたら、タスカルにくる、という構図があればいいと思う

(3) タスカルの備えを学ぶコーナーに設置したタスカル AR の説明、各メンバーの体験実施。

6 あべのタスカル魅力向上アドバイザー会議議事要旨 別添のとおり